



ぶりの解体ショー

～いただきますの意味を知ったよ～



長年板前をされていた方に来てもらい、体長80cm以上、重さ5kg以上のぶりを解体してくれました🐟

包丁を丁寧に置いていき、エラや内臓をきれいに取ってくれました。内臓を見て「めっちゃ血でてる〜」「心臓ちっちゃいんやなあ」「とげとげのところある〜」「黄色いところはなに？」と興味津々でした。

給食の先生が『いただきます』には作ってくれた人への感謝と、命・いきものへの感謝の2つの意味があることとお話してくれました。これからも感謝の気持ちを持って『いただきます』を言える子どもたちに育ててほしいと思います。

解体したぶりは、次の日にぶりの照り焼きにして食べました。みんな「おいしい〜」と喜んでいました。

